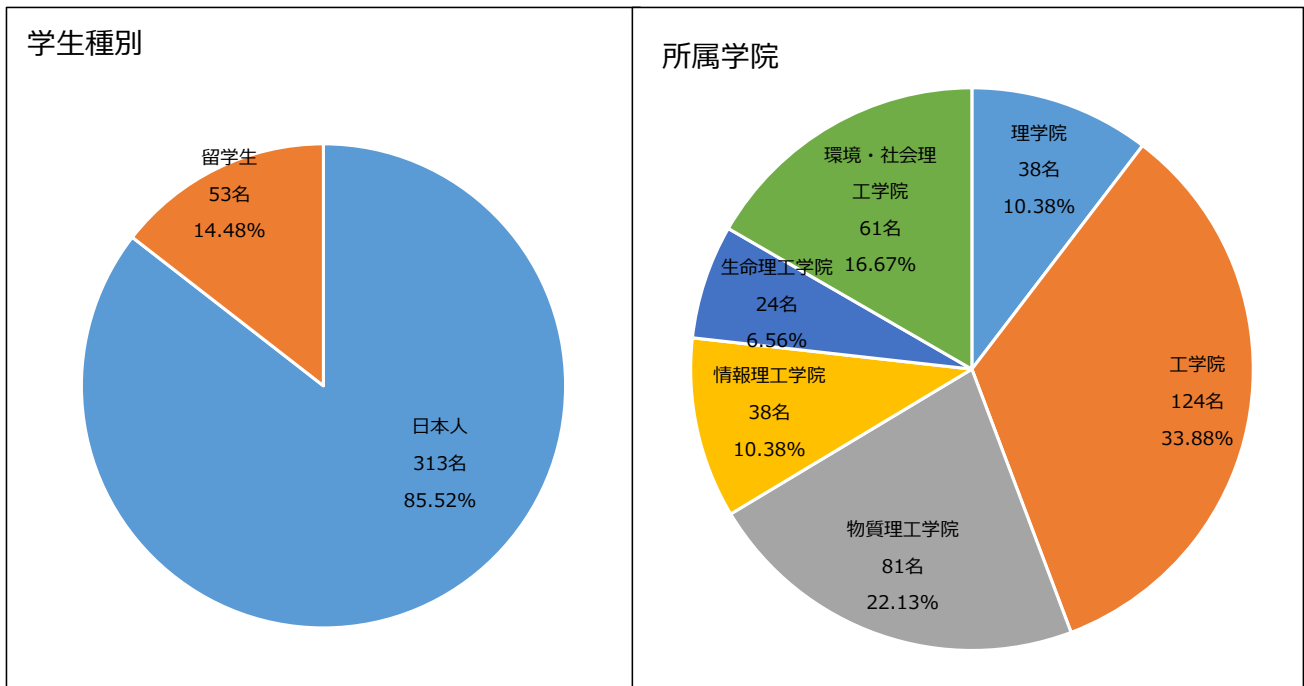


令和3年度 教育改善に関するアンケート〈修士課程〉

基本統計量

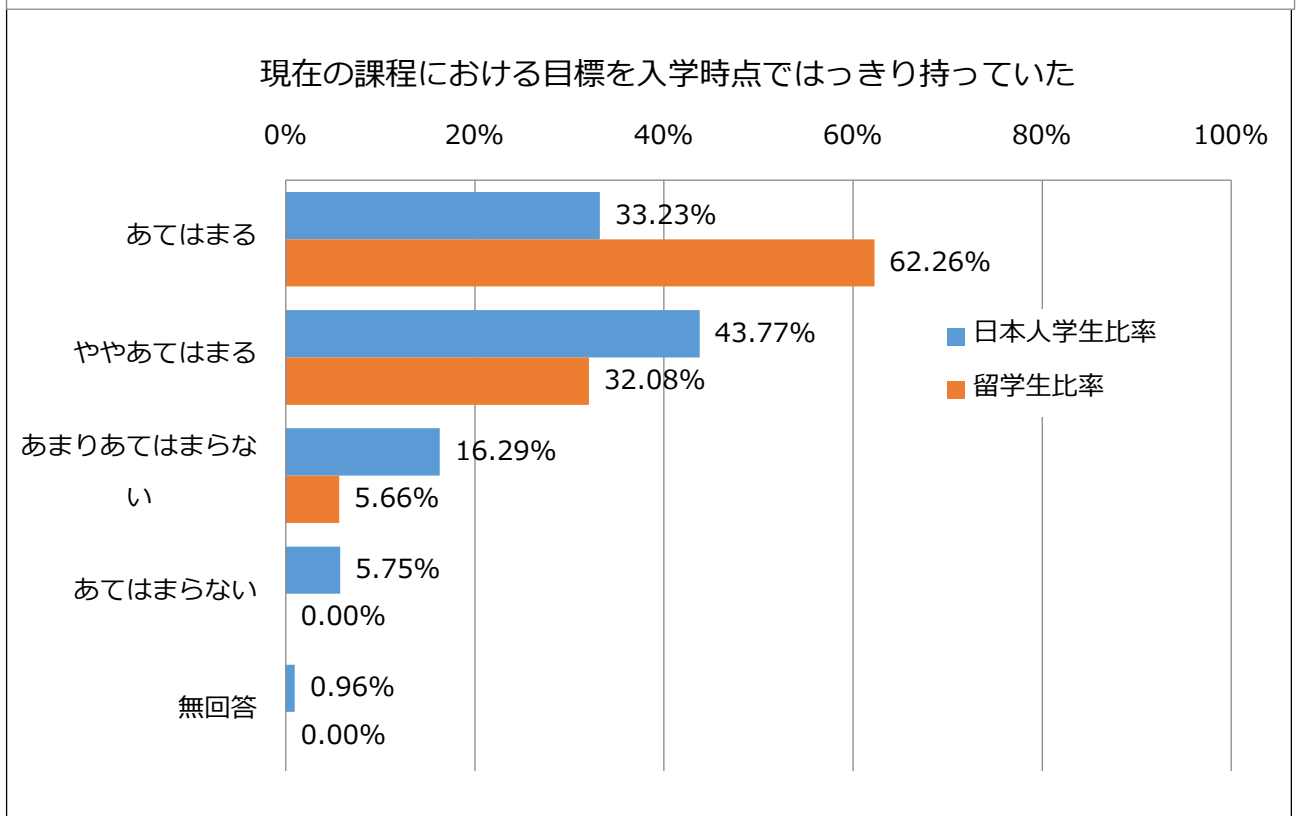
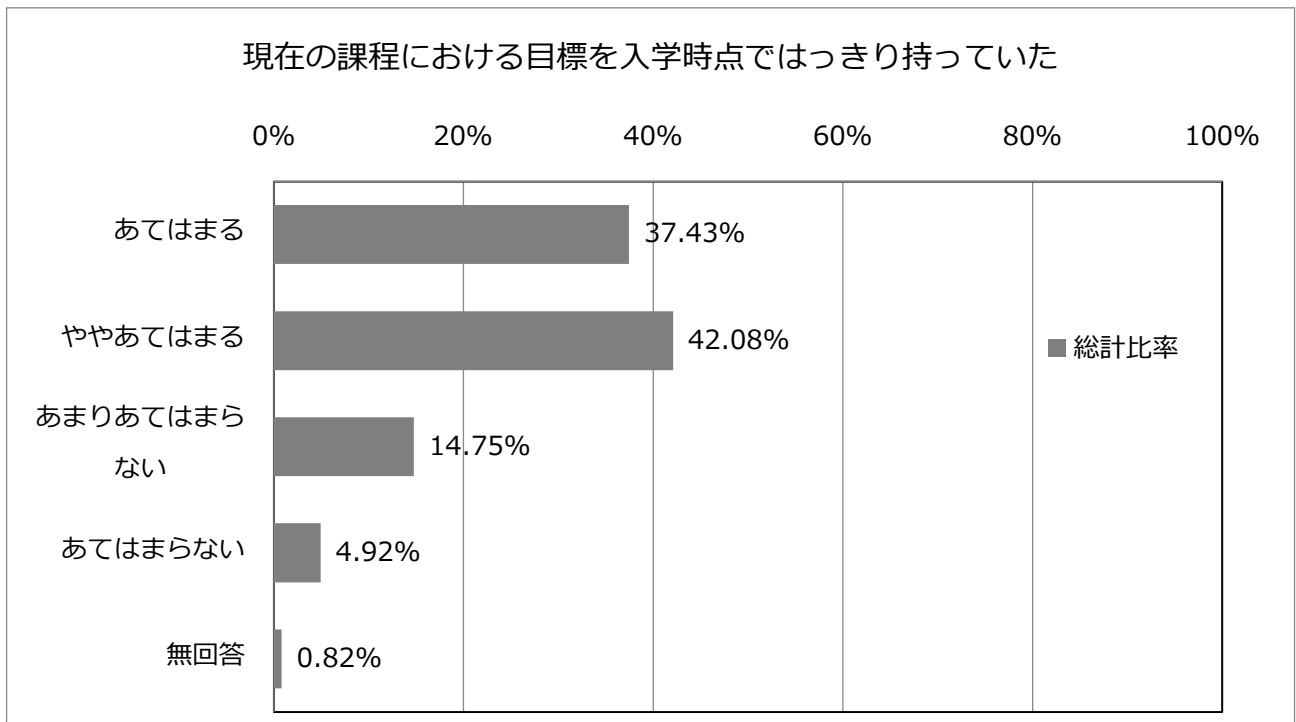


学生種別	人数	割合
日本人	313	85.52%
留学生	53	14.48%
総計	366	100.00%

所属学院	日本人学生	留学生	総計	割合
理学院	37	1	38	10.38%
工学院	104	20	124	33.88%
物質理工学院	72	9	81	22.13%
情報理工学院	28	10	38	10.38%
生命理工学院	21	3	24	6.56%
環境・社会理工学院	51	10	61	16.67%
総計	313	53	366	100.00%

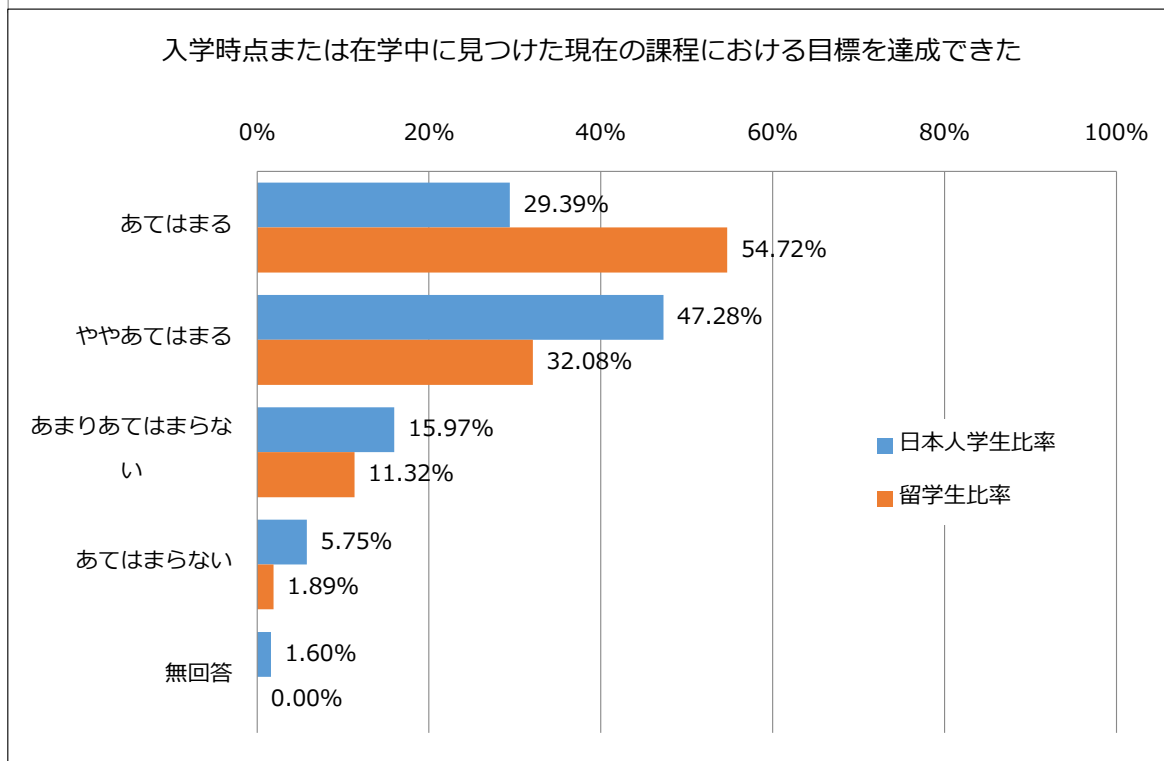
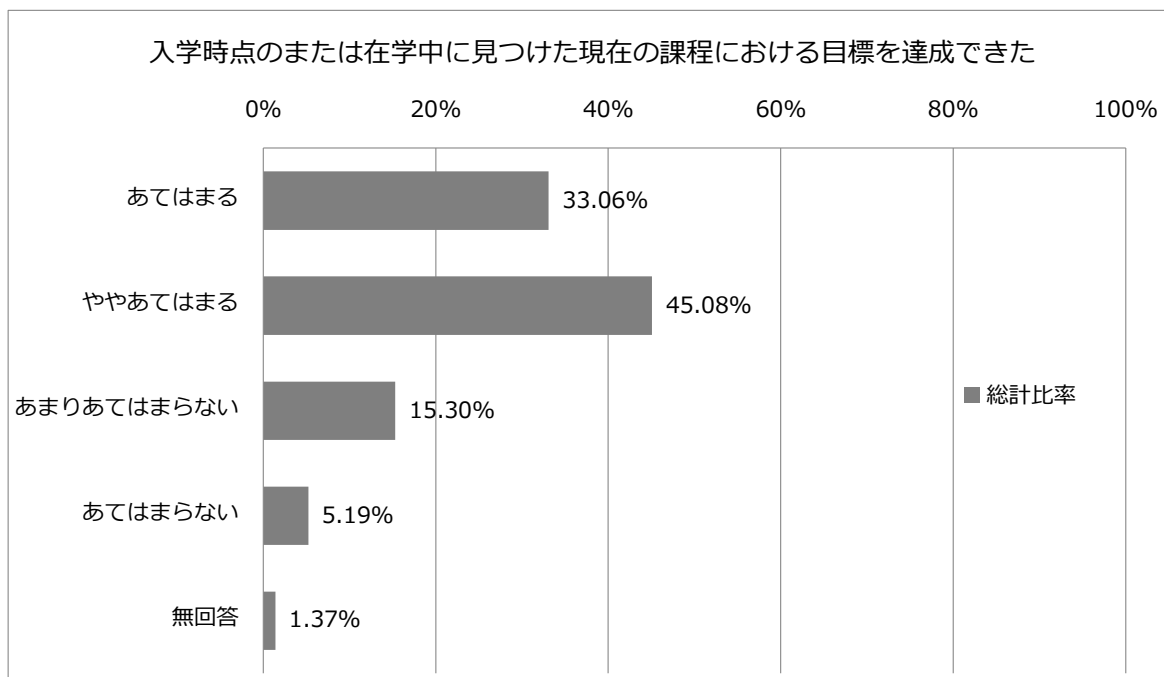
問1. 課程における目標について

1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた



問1. 課程における目標について

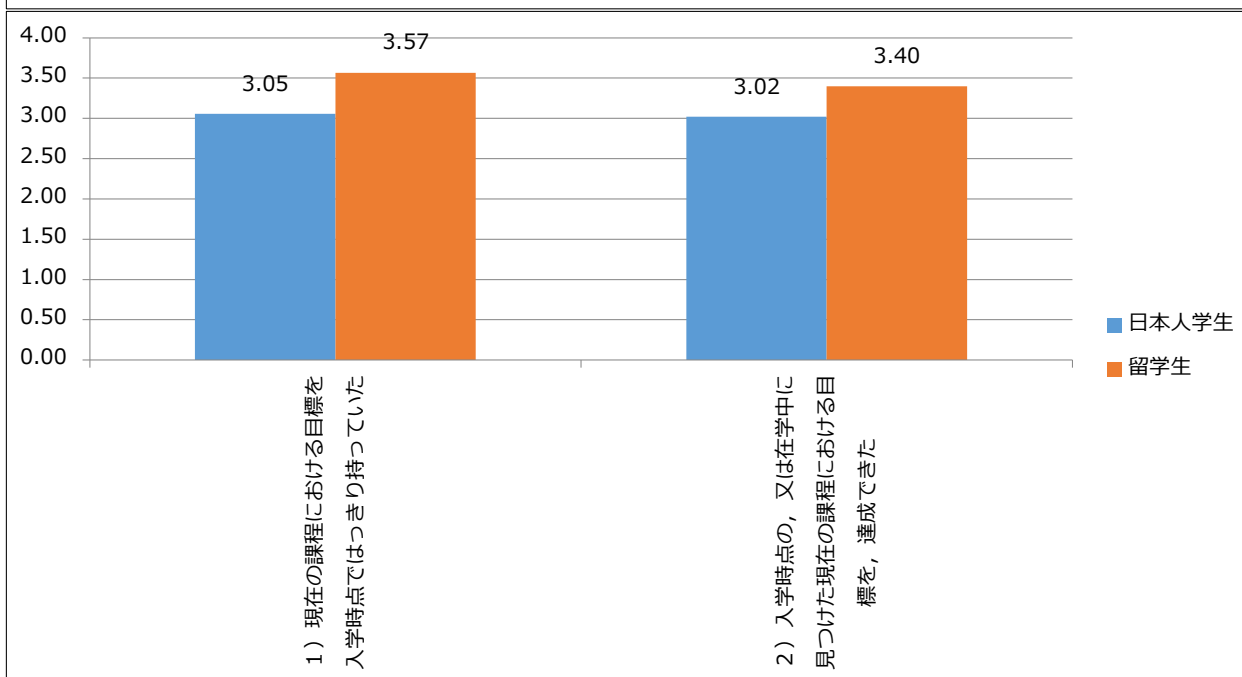
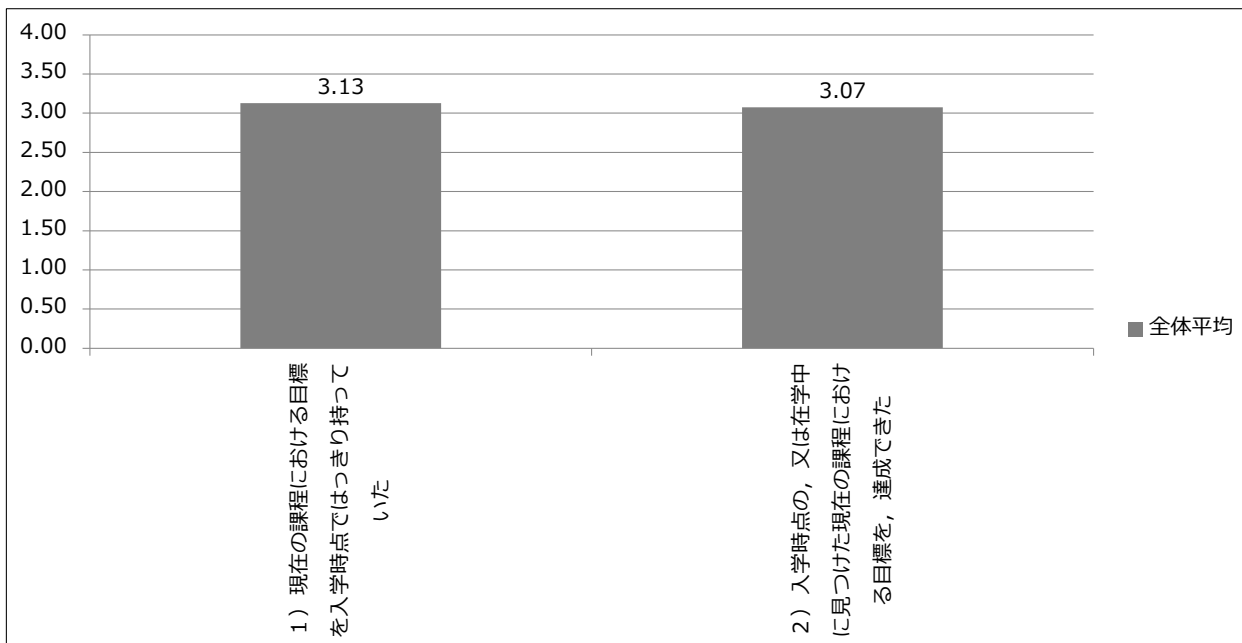
2) 入学時点の, 又は在学中に見つけた現在の課程における目標を, 達成できた



問1. 課程における目標について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 現在の課程における目標を入学時点ではっきり持っていた	3.13	3.05	3.57
2) 入学時点の、又は在学中に見つけた現在の課程における目標を、達成できた	3.07	3.02	3.40

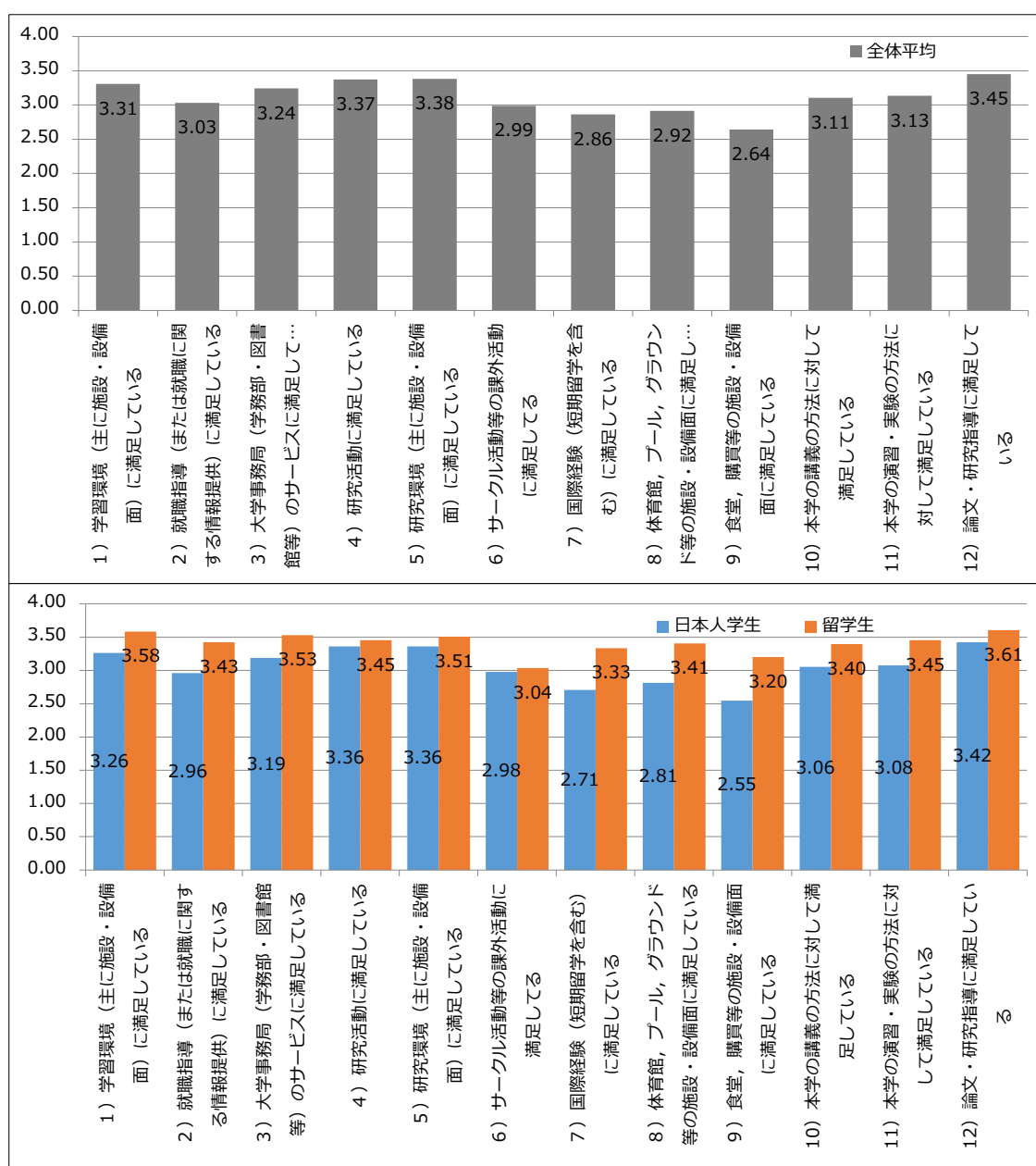
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問2. 本学での学生生活における環境・教育について

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 学習環境（主に施設・設備面）に満足している	3.31	3.26	3.58
2) 就職指導（または就職に関する情報提供）に満足している	3.03	2.96	3.43
3) 大学事務局（学務部・図書館等）のサービスに満足している	3.24	3.19	3.53
4) 研究活動に満足している	3.37	3.36	3.45
5) 研究環境（主に施設・設備面）に満足している	3.38	3.36	3.51
6) サークル活動等の課外活動に満足している	2.99	2.98	3.04
7) 国際経験（短期留学を含む）に満足している	2.86	2.71	3.33
8) 体育館、プール、グラウンド等の施設・設備面に満足している	2.92	2.81	3.41
9) 食堂、購買等の施設・設備面に満足している	2.64	2.55	3.20
10) 本学の講義の方法に対して満足している	3.11	3.06	3.40
11) 本学の演習・実験の方法に対して満足している	3.13	3.08	3.45
12) 論文・研究指導に満足している	3.45	3.42	3.61

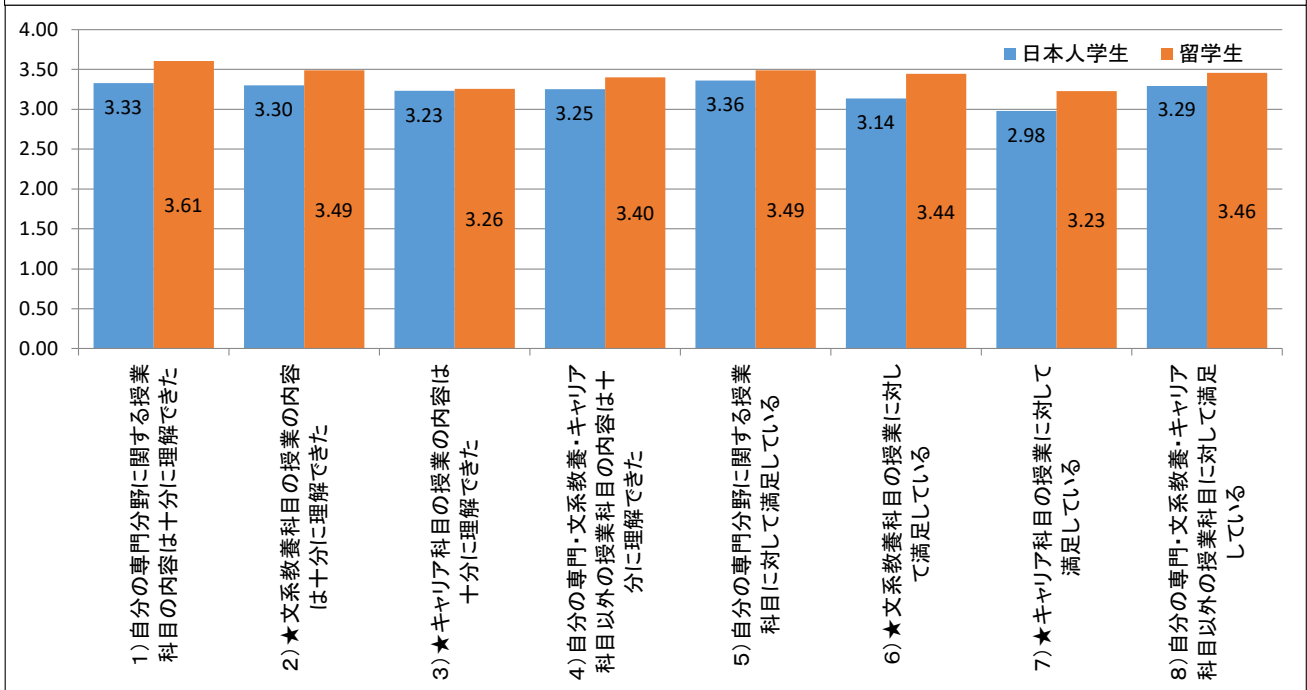
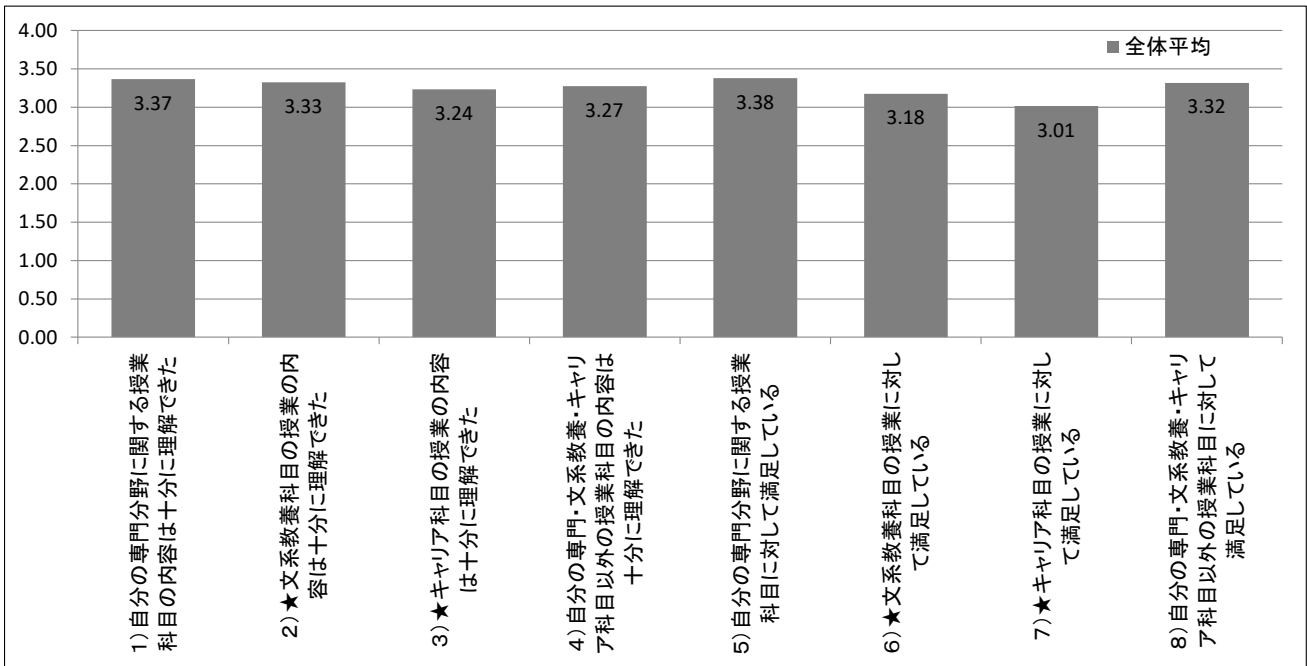
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問3. 教育について ※平成28年度以降入学の方は★を付した質問項目には「履修していない」以外を選択してください

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自分の専門分野に関する授業科目の内容は十分に理解できた	3.37	3.33	3.61
2) ★文系教養科目の授業の内容は十分に理解できた	3.33	3.30	3.49
3) ★キャリア科目の授業の内容は十分に理解できた	3.24	3.23	3.26
4) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目の内容は十分に理解できた	3.27	3.25	3.40
5) 自分の専門分野に関する授業科目に対して満足している	3.38	3.36	3.49
6) ★文系教養科目の授業に対して満足している	3.18	3.14	3.44
7) ★キャリア科目の授業に対して満足している	3.01	2.98	3.23
8) 自分の専門・文系教養・キャリア科目以外の授業科目に対して満足している	3.32	3.29	3.46

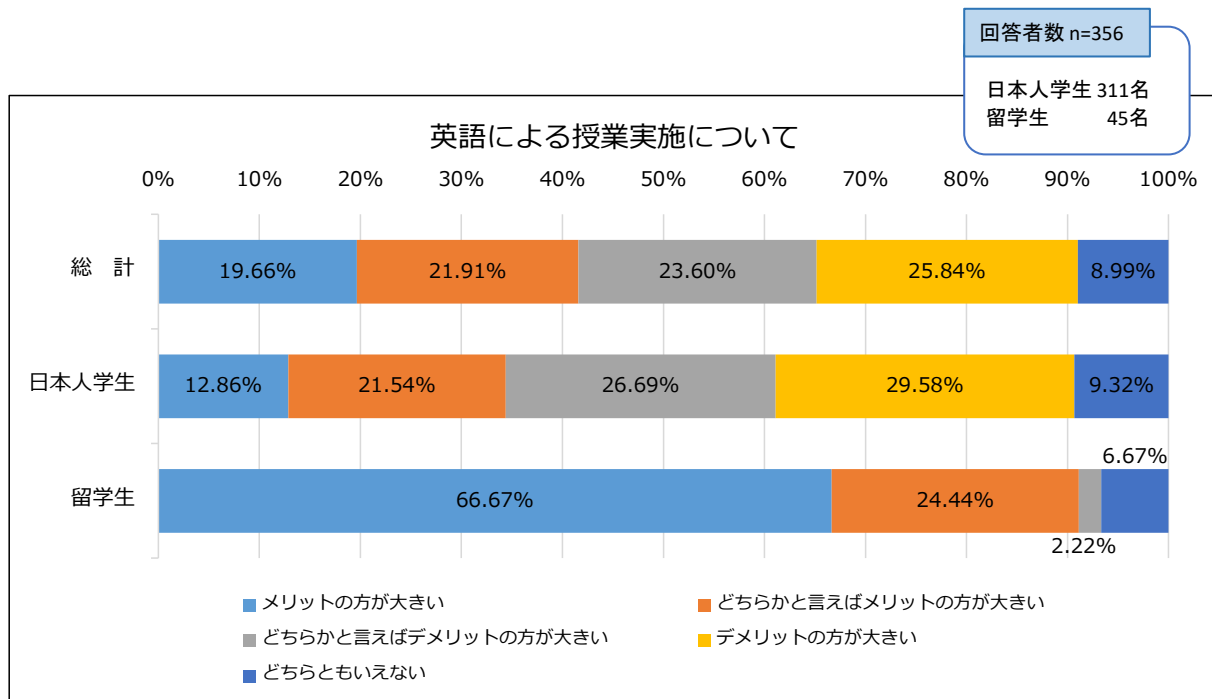
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問4. 英語による授業実施について

1) 大学院における英語での授業実施は、今後のグローバル化を見据えた学修というメリットがある一方で、授業の内容が理解しにくくなるというデメリットがありますが、ご自身にとって、英語による授業実施はメリットとデメリットのどちらが大きかったと思いますか。

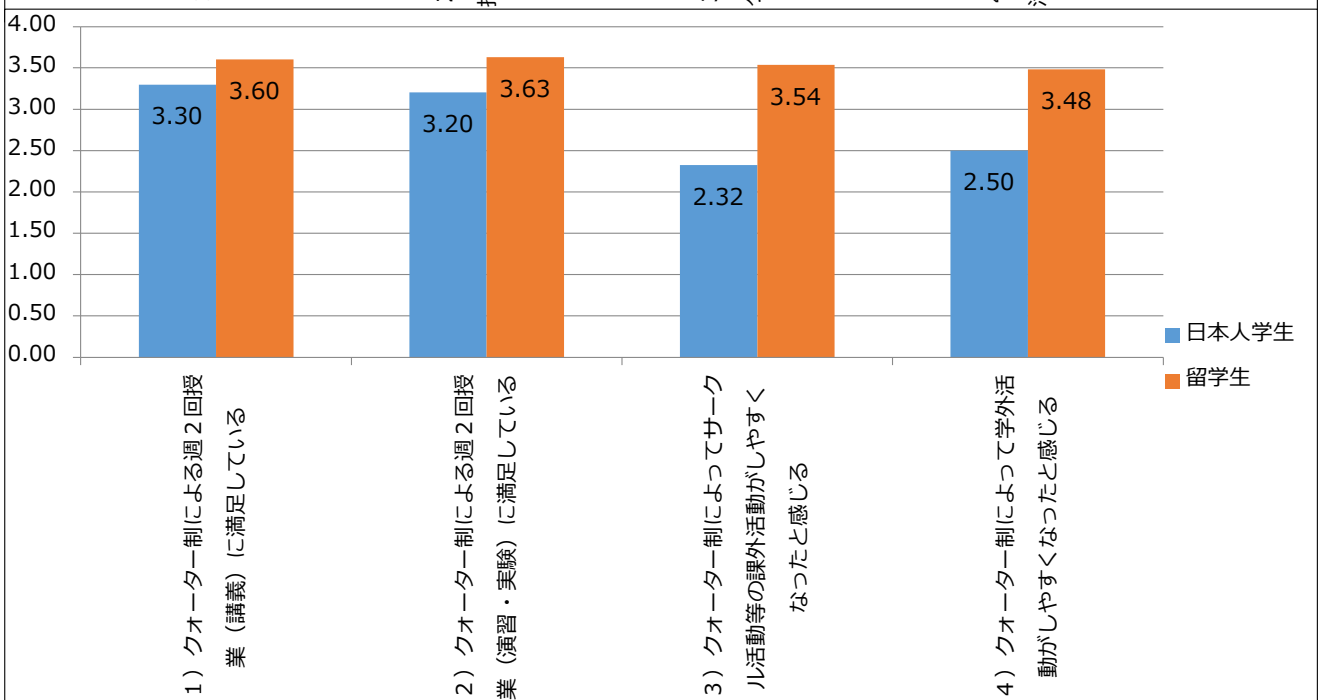
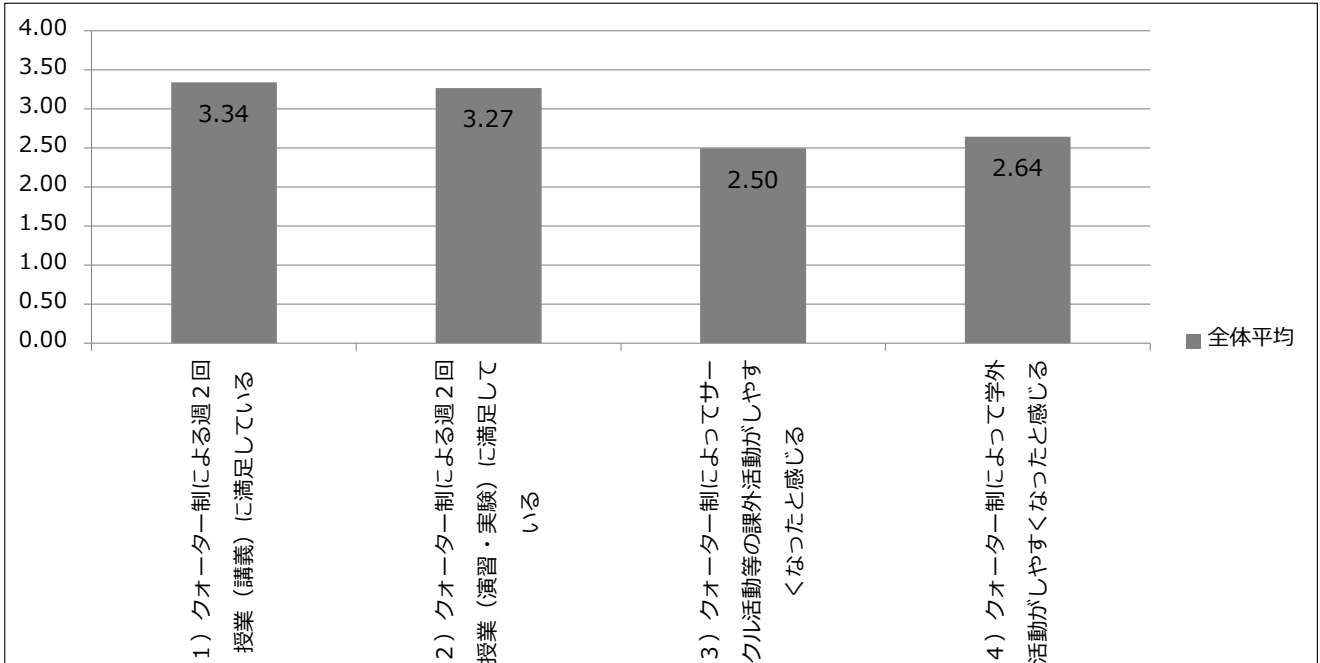
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	回答者数	割合	回答者数	割合	回答者数	割合
メリットの方が大きい	70名	19.66%	40名	12.86%	30名	66.67%
どちらかと言えばメリットの方が大きい	78名	21.91%	67名	21.54%	11名	24.44%
どちらかと言えばデメリットの方が大きい	84名	23.60%	83名	26.69%	1名	2.22%
デメリットの方が大きい	92名	25.84%	92名	29.58%	0名	0.00%
どちらともいえない	32名	8.99%	29名	9.32%	3名	6.67%
回答者計	356名	100.00%	311名	100.00%	45名	100.00%
無回答	10名		2名		8名	



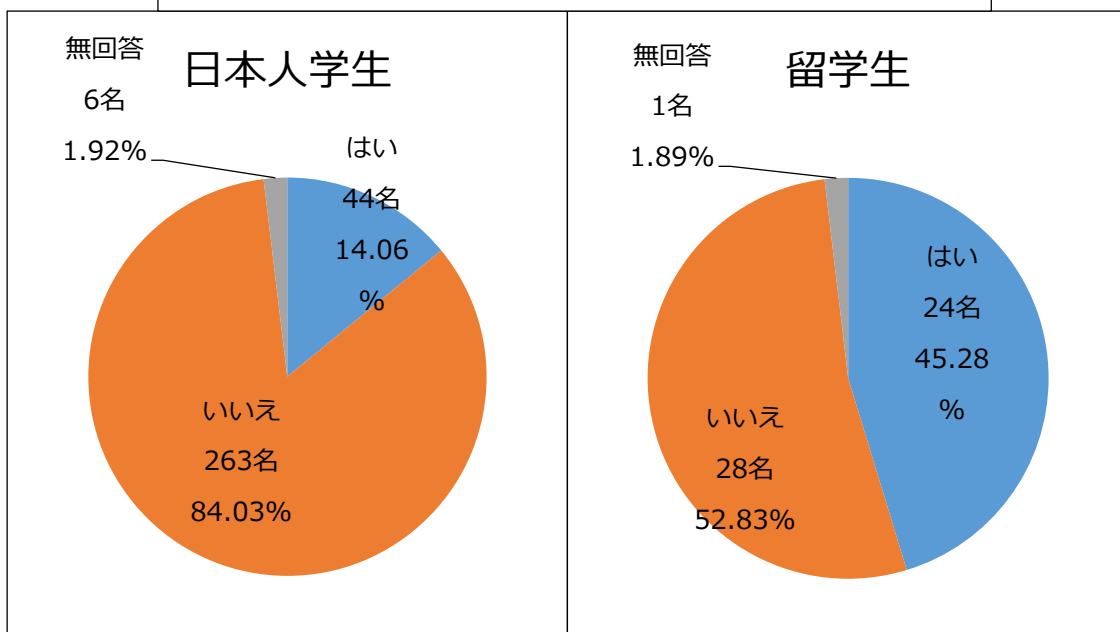
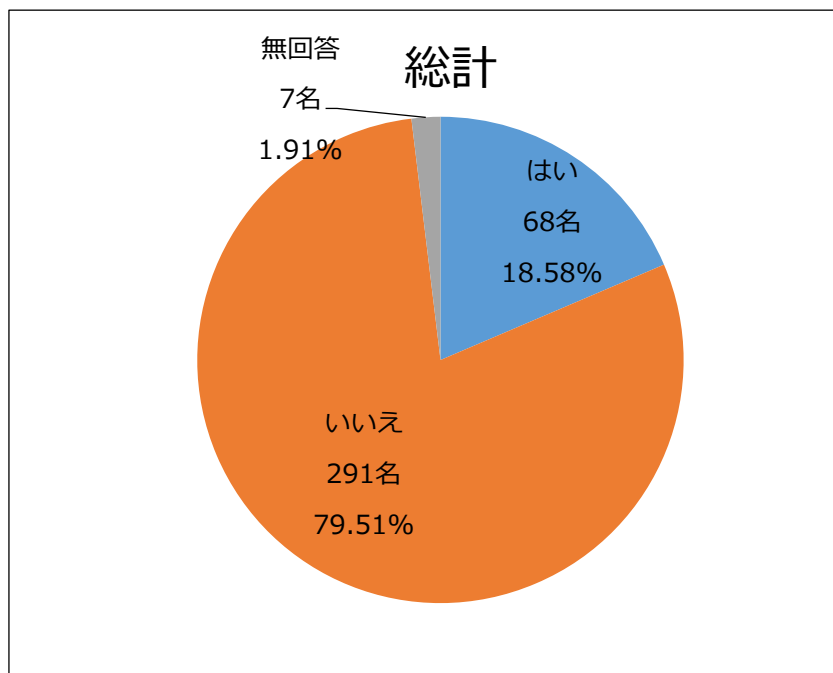
問5. クォーター制及び学外活動に関して

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) クォーター制による週2回授業（講義）に満足している	3.34	3.30	3.60
2) クォーター制による週2回授業（演習・実験）に満足している	3.27	3.20	3.63
3) クォーター制によってサークル活動等の課外活動がしやすくなったと感じる	2.50	2.32	3.54
4) クォーター制によって学外活動がしやすくなったと感じる	2.64	2.50	3.48

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

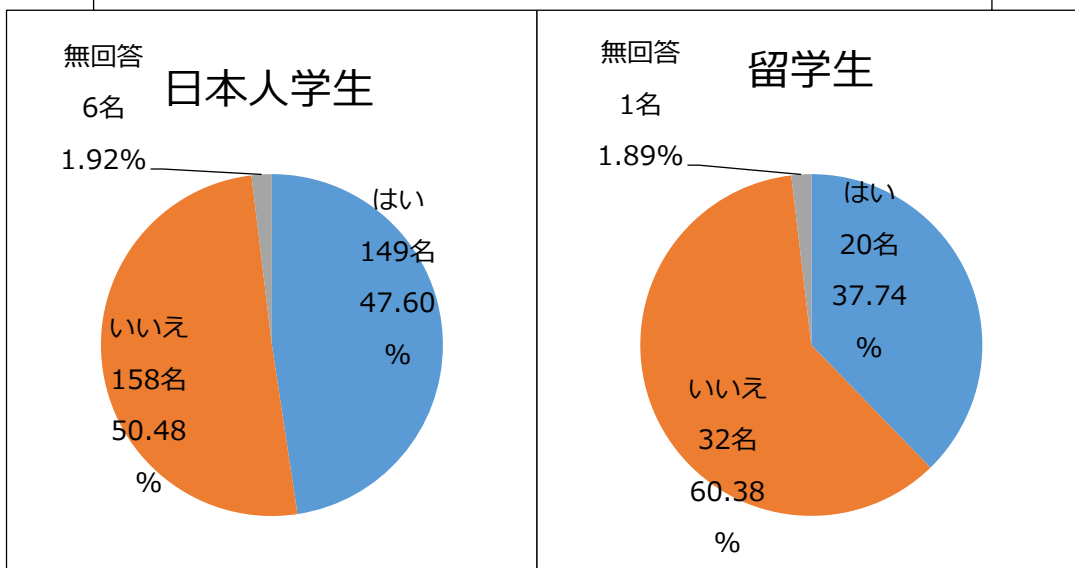
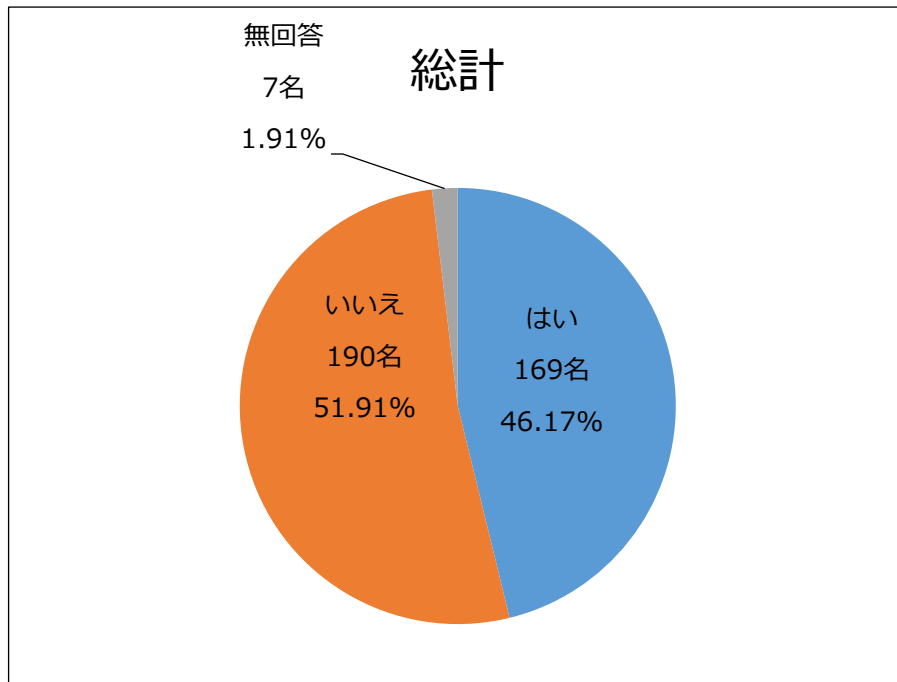


問5. クォーター制及び学外活動に関して
5) 留学などの国際経験をしたことがある

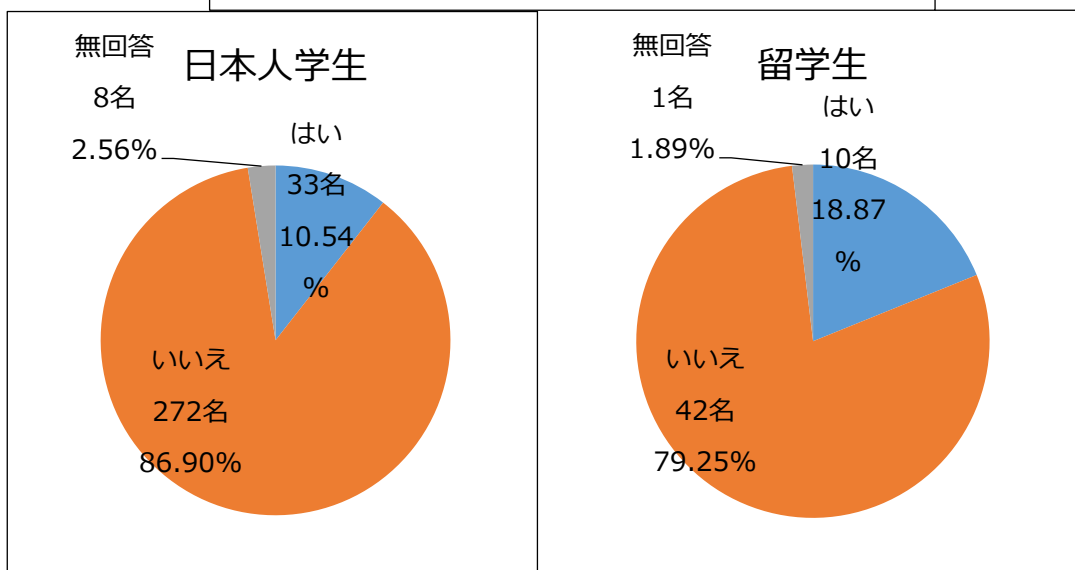
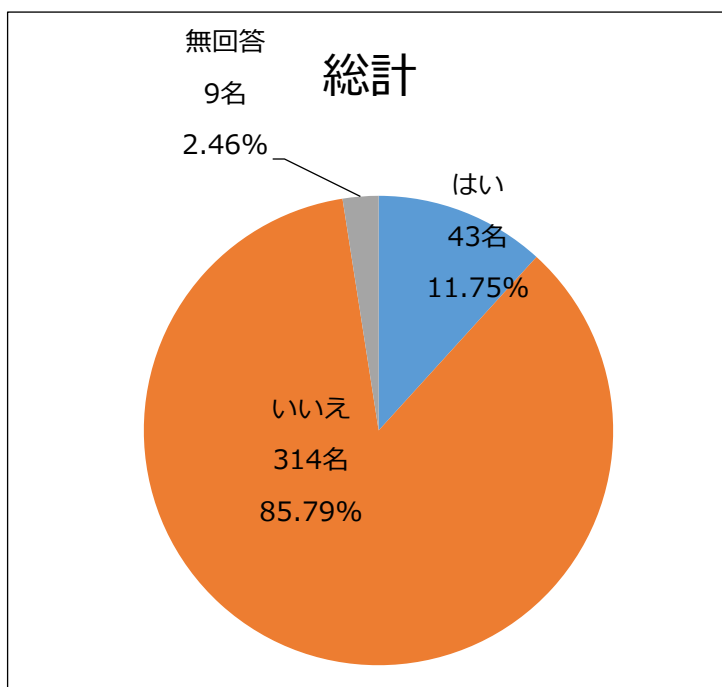


問5. クォーター制及び学外活動に関して

6) インターンシップなど外部機関での活動をしたことがある



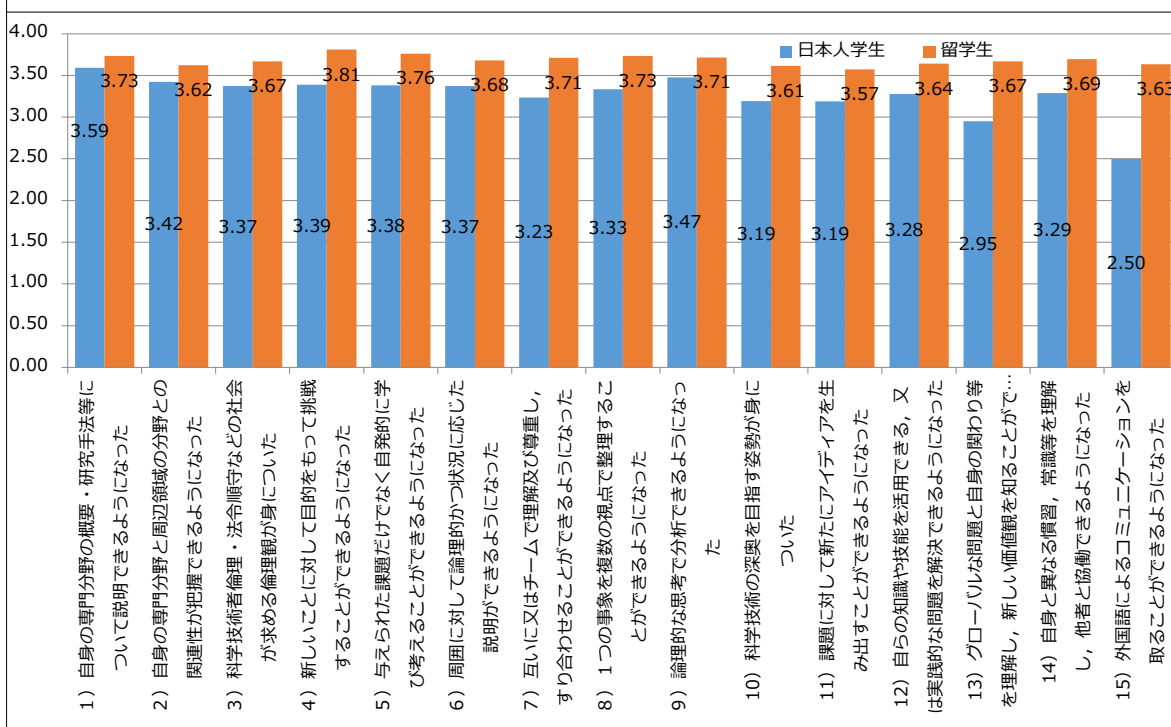
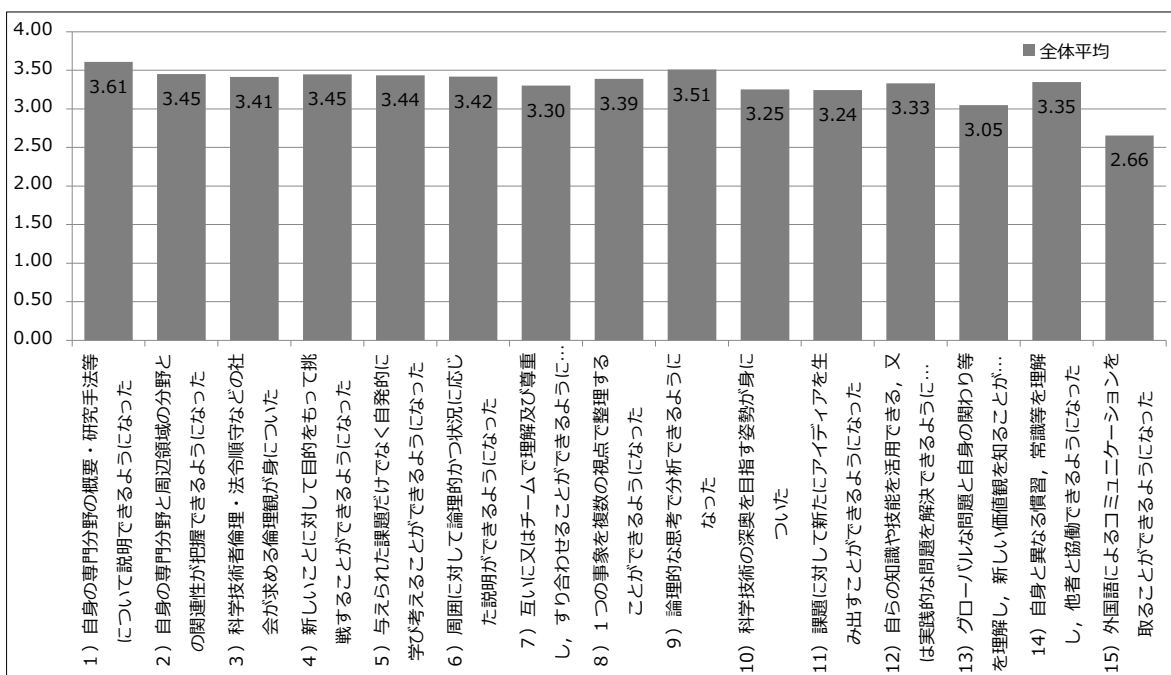
問5. クォーター制及び学外活動に関して
7) ボランティア活動をしたことがある



問6. 現在の課程に入学する前に比べて、できるようになったことについて

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.61	3.59	3.73
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.45	3.42	3.62
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.41	3.37	3.67
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.45	3.39	3.81
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.44	3.38	3.76
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.42	3.37	3.68
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.30	3.23	3.71
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.39	3.33	3.73
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.51	3.47	3.71
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	3.25	3.19	3.61
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.24	3.19	3.57
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.33	3.28	3.64
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.05	2.95	3.67
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.35	3.29	3.69
15) 外国語によるコミュニケーションを取ることができるようになった	2.66	2.50	3.63

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

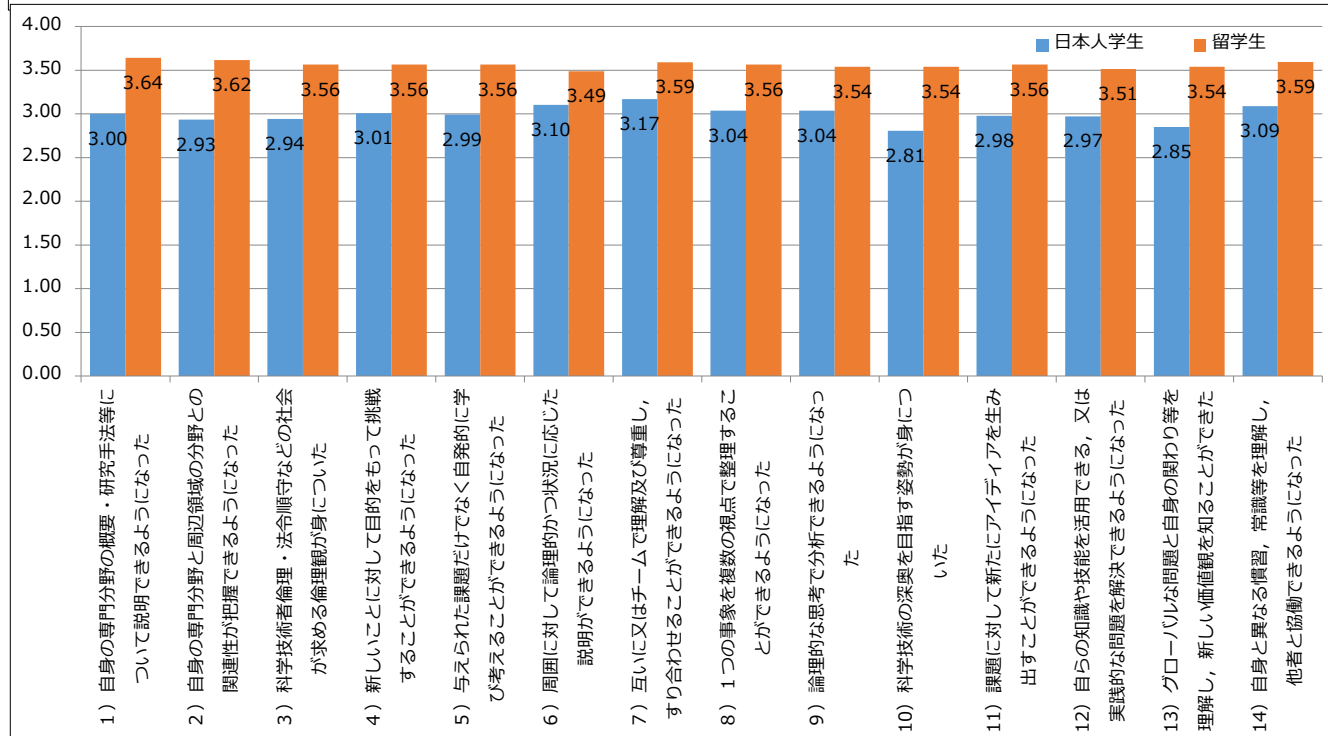
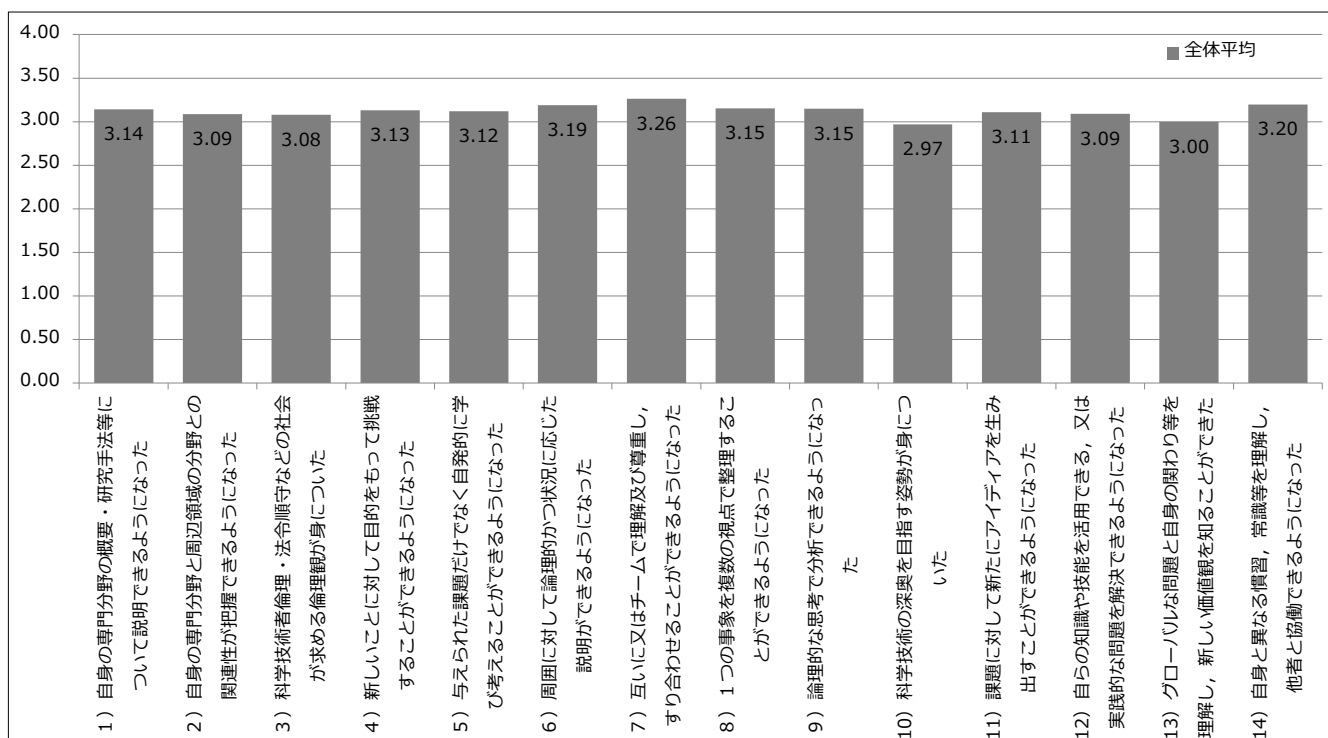


問7. コア学修科目（「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」）およびその他の文系教養科目を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【コア学修科目】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	3.14	3.00	3.64
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	3.09	2.93	3.62
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	3.08	2.94	3.56
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	3.13	3.01	3.56
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	3.12	2.99	3.56
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	3.19	3.10	3.49
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	3.26	3.17	3.59
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.15	3.04	3.56
9) 論理的な思考で分析できるようになった	3.15	3.04	3.54
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	2.97	2.81	3.54
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	3.11	2.98	3.56
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	3.09	2.97	3.51
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	3.00	2.85	3.54
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.20	3.09	3.59

あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)

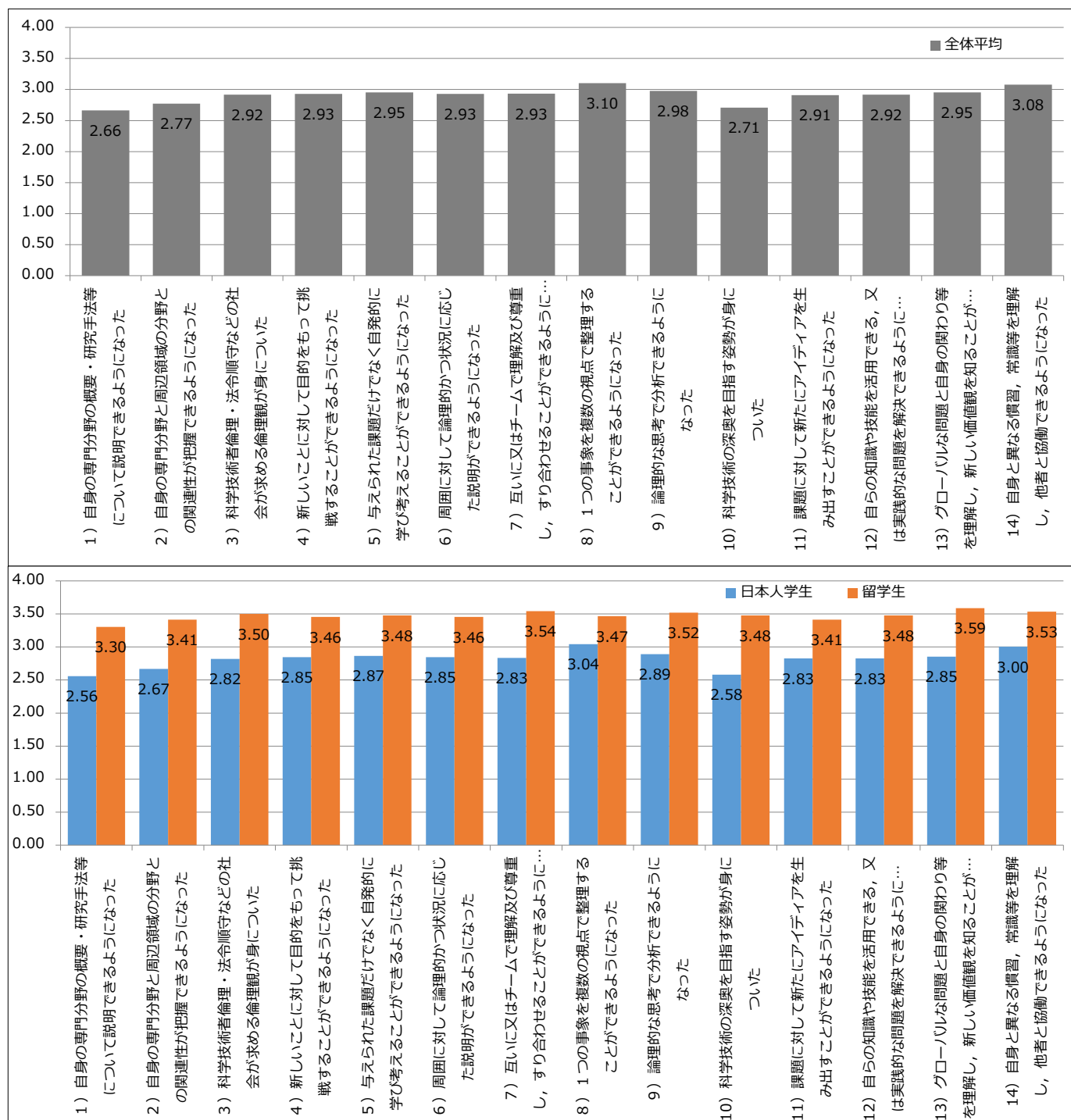


問7. コア学修科目（「リーダーシップ道場」、「ピアレビュー実践」、「リーダーシップアドバンス」）およびその他の文系教養科目を履修したことは、今のあなたにとってどのように役立っていると思いますか。

【文系教養科目(コア学修科目以外)】

設問	全体平均	日本人学生	留学生
1) 自身の専門分野の概要・研究手法等について説明できるようになった	2.66	2.56	3.30
2) 自身の専門分野と周辺領域の分野との関連性が把握できるようになった	2.77	2.67	3.41
3) 科学技術者倫理・法令順守などの社会が求める倫理観が身についた	2.92	2.82	3.50
4) 新しいことに対して目的をもって挑戦することができるようになった	2.93	2.85	3.46
5) 与えられた課題だけでなく自発的に学び考えることができるようになった	2.95	2.87	3.48
6) 周囲に対して論理的かつ状況に応じた説明ができるようになった	2.93	2.85	3.46
7) 互いに又はチームで理解及び尊重し、すり合わせるできるようになった	2.93	2.83	3.54
8) 1つの事象を複数の視点で整理することができるようになった	3.10	3.04	3.47
9) 論理的な思考で分析できるようになった	2.98	2.89	3.52
10) 科学技術の深奥を目指す姿勢が身についた	2.71	2.58	3.48
11) 課題に対して新たにアイデアを生み出すことができるようになった	2.91	2.83	3.41
12) 自らの知識や技能を活用できる、又は実践的な問題を解決できるようになった	2.92	2.83	3.48
13) グローバルな問題と自身の関わり等を理解し、新しい価値観を知ることができた	2.95	2.85	3.59
14) 自身と異なる慣習、常識等を理解し、他者と協働できるようになった	3.08	3.00	3.53

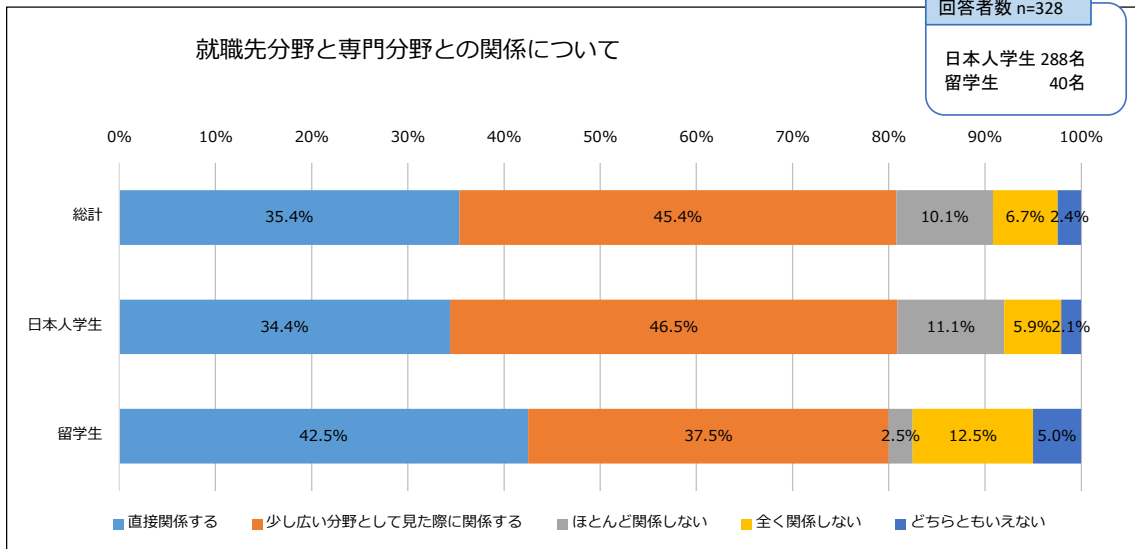
あてはまる(4点)、ややあてはまる(3点)、あまりあてはまらない(2点)、あてはまらない(1点)



問8 就職までに至るまでの状況について

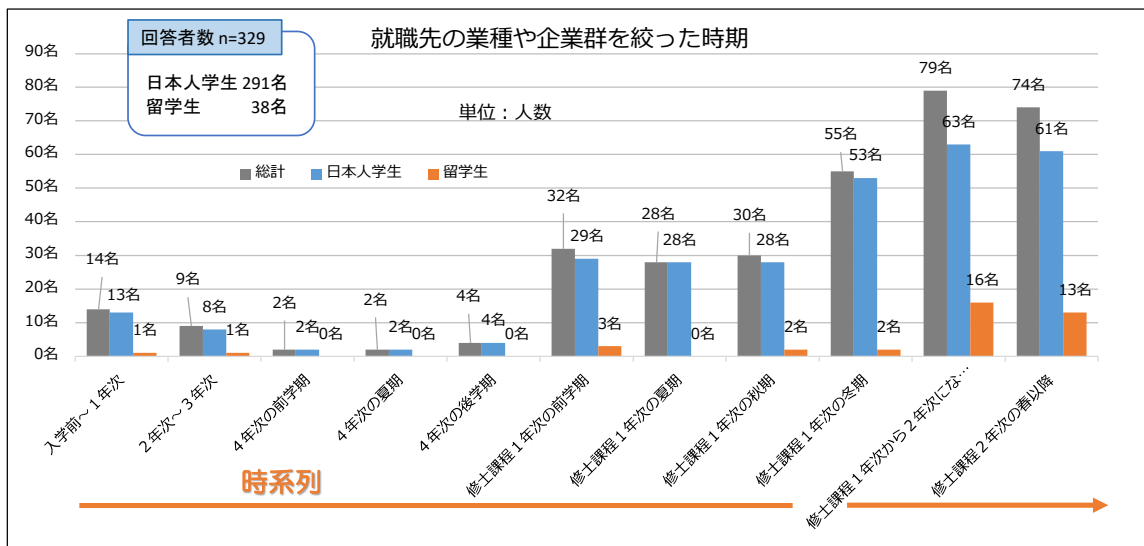
2) 就職先は、学修した専門分野と直接関係する分野ですか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
直接関係する	116名	35.4%	99名	34.4%	17名	42.5%
少し広い分野として見た際に関係する	149名	45.4%	134名	46.5%	15名	37.5%
ほとんど関係しない	33名	10.1%	32名	11.1%	1名	2.5%
全く関係しない	22名	6.7%	17名	5.9%	5名	12.5%
どちらともいえない	8名	2.4%	6名	2.1%	2名	5.0%
回答者計	328名	100.0%	288名	100.0%	40名	100.0%
無回答	38名		25名		13名	



4) 現在の就職先を含む業種や企業群等に最終的に絞った時期について、最もふさわしいものを1つ選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	14名	4.26%	13名	4.47%	1名	2.63%
2年次～3年次	9名	2.74%	8名	2.75%	1名	2.63%
4年次の前学期	2名	0.61%	2名	0.69%	0名	0.00%
4年次の夏期	2名	0.61%	2名	0.69%	0名	0.00%
4年次の後学期	4名	1.22%	4名	1.37%	0名	0.00%
修士課程1年次の前学期	32名	9.73%	29名	9.97%	3名	7.89%
修士課程1年次の夏期	28名	8.51%	28名	9.62%	0名	0.00%
修士課程1年次の秋期	30名	9.12%	28名	9.62%	2名	5.26%
修士課程1年次の冬期	55名	16.72%	53名	18.21%	2名	5.26%
修士課程1年次から2年次になる春期	79名	24.01%	63名	21.65%	16名	42.11%
修士課程2年次の春以降	74名	22.49%	61名	20.96%	13名	34.21%
回答者計	329名	100.00%	291名	100.00%	38名	100.00%
無回答	37名		22名		15名	



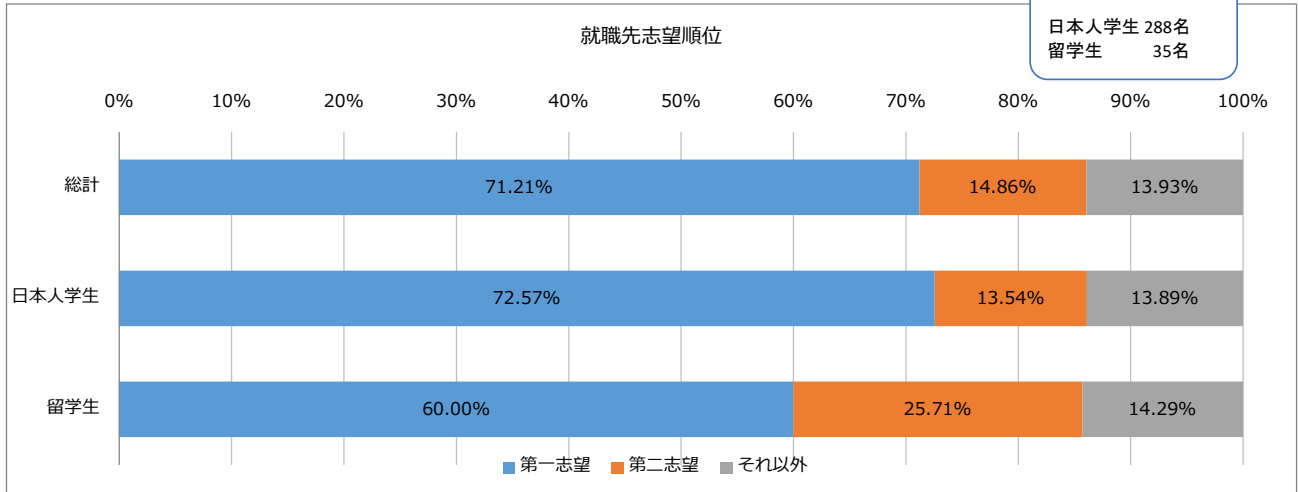
問8 就職までに至るまでの状況について

5) 就職先の志望順位について選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
第一志望	230名	71.21%	209名	72.57%	21名	60.00%
第二志望	48名	14.86%	39名	13.54%	9名	25.71%
それ以外	45名	13.93%	40名	13.89%	5名	14.29%
回答者計	323名	100.00%	288名	100.00%	35名	100.00%
無回答	43名		25名		18名	

回答者数 n=323

日本人学生 288名
留学生 35名

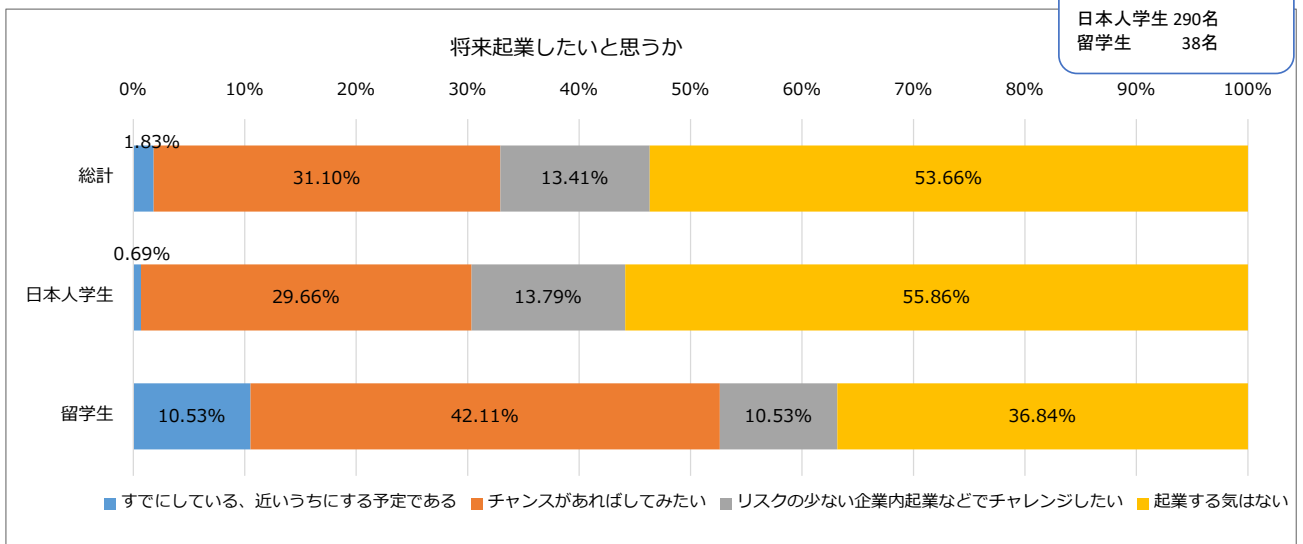


6) 将来的に起業したいと思いませんか。最もふさわしいものを1つ選択ください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
すでにしている、近いうちに予定である	6名	1.83%	2名	0.69%	4名	10.53%
チャンスがあればしてみたい	102名	31.10%	86名	29.66%	16名	42.11%
リスクの少ない企業内起業などでチャレンジしたい	44名	13.41%	40名	13.79%	4名	10.53%
起業する気はない	176名	53.66%	162名	55.86%	14名	36.84%
回答者計	328名	100.00%	290名	100.00%	38名	100.00%
無回答	38名		23名		15名	

回答者数 n=328

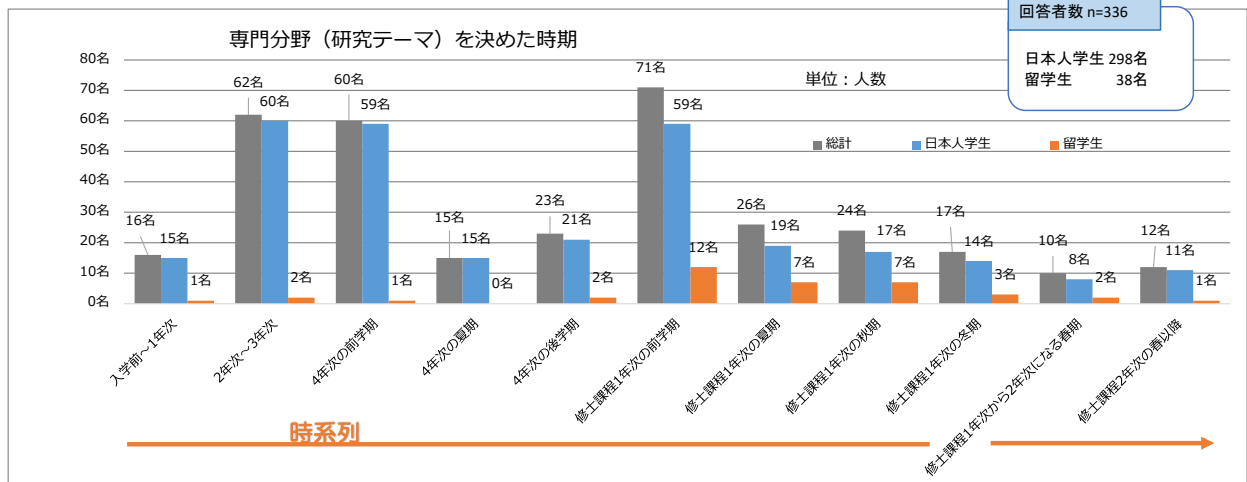
日本人学生 290名
留学生 38名



問8 就職までに至るまでの状況について

7) いくつか具体的な専門分野（研究テーマなど）を決めましたか。最もふさわしいものを1つ選択してください。

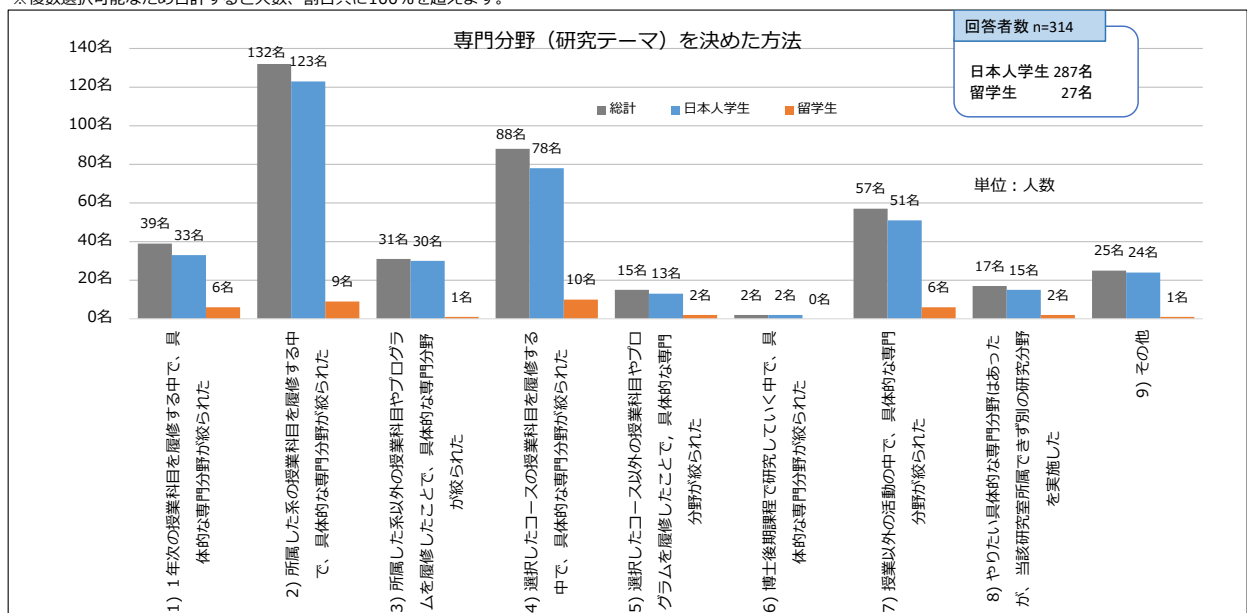
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
入学前～1年次	16名	4.76%	15名	5.03%	1名	2.63%
2年次～3年次	62名	18.45%	60名	20.13%	2名	5.26%
4年次の前学期	60名	17.86%	59名	19.80%	1名	2.63%
4年次の夏期	15名	4.46%	15名	5.03%	0名	0.00%
4年次の後学期	23名	6.85%	21名	7.05%	2名	5.26%
修士課程1年次の前学期	71名	21.13%	59名	19.80%	12名	31.58%
修士課程1年次の夏期	26名	7.74%	19名	6.38%	7名	18.42%
修士課程1年次の秋期	24名	7.14%	17名	5.70%	7名	18.42%
修士課程1年次の冬期	17名	5.06%	14名	4.70%	3名	7.89%
修士課程1年次から2年次になる春期	10名	2.98%	8名	2.68%	2名	5.26%
修士課程2年次の春以降	12名	3.57%	11名	3.69%	1名	2.63%
回答者計	336名	100.00%	298名	100.00%	38名	100.00%
無回答	30名		15名		15名	



8) 具体的な専門分野（研究テーマなど）をどのように絞っていききましたか。最もふさわしいものを2つまで選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 1年次の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	39名	12.42%	33名	11.50%	6名	22.22%
2) 所属した系の授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	132名	42.04%	123名	42.86%	9名	33.33%
3) 所属した系以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	31名	9.87%	30名	10.45%	1名	3.70%
4) 選択したコースの授業科目を履修する中で、具体的な専門分野が絞られた	88名	28.03%	78名	27.18%	10名	37.04%
5) 選択したコース以外の授業科目やプログラムを履修したことで、具体的な専門分野が絞られた	15名	4.78%	13名	4.53%	2名	7.41%
6) 博士後期課程で研究していく中で、具体的な専門分野が絞られた	2名	0.64%	2名	0.70%	0名	0.00%
7) 授業以外の活動の中で、具体的な専門分野が絞られた	57名	18.15%	51名	17.77%	6名	22.22%
8) やりたい具体的な専門分野はあったが、当該研究室所属できず別の研究分野を実施した	17名	5.41%	15名	5.23%	2名	7.41%
9) その他	25名	7.96%	24名	8.36%	1名	3.70%
回答者計	314名	100.00%	287名	100.00%	27名	100.00%
無回答	52名		26名		26名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

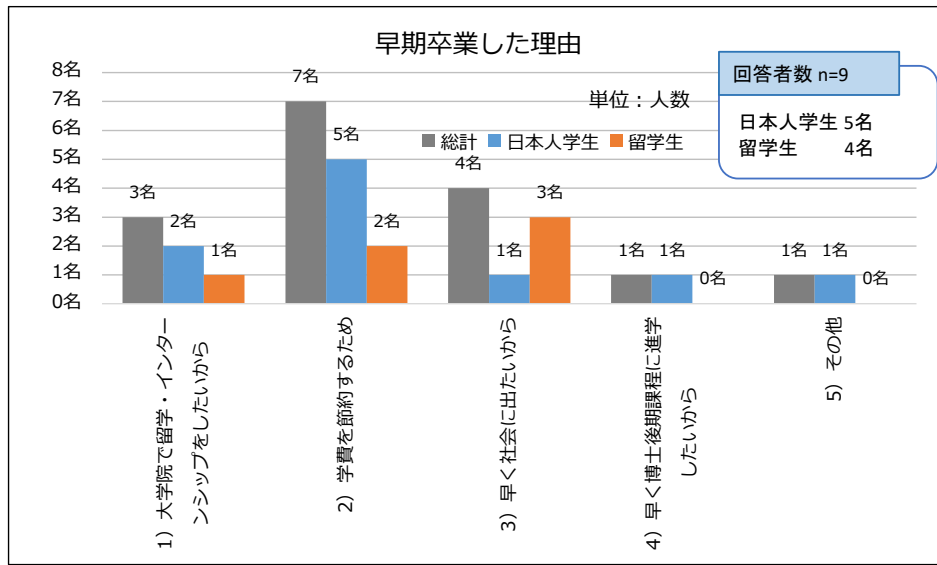


問8 就職までに至るまでの状況について

9) 早期卒業した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 大学院で留学・インターンシップをしたいから	3名	33.33%	2名	40.00%	1名	25.00%
2) 学費を節約するため	7名	77.78%	5名	100.00%	2名	50.00%
3) 早く社会に出たいから	4名	44.44%	1名	20.00%	3名	75.00%
4) 早く博士後期課程に進学したいから	1名	11.11%	1名	20.00%	0名	0.00%
5) その他	1名	11.11%	1名	20.00%	0名	0.00%
回答者計	9名	100.00%	5名	100.00%	4名	100.00%
無回答	357名		308名		49名	

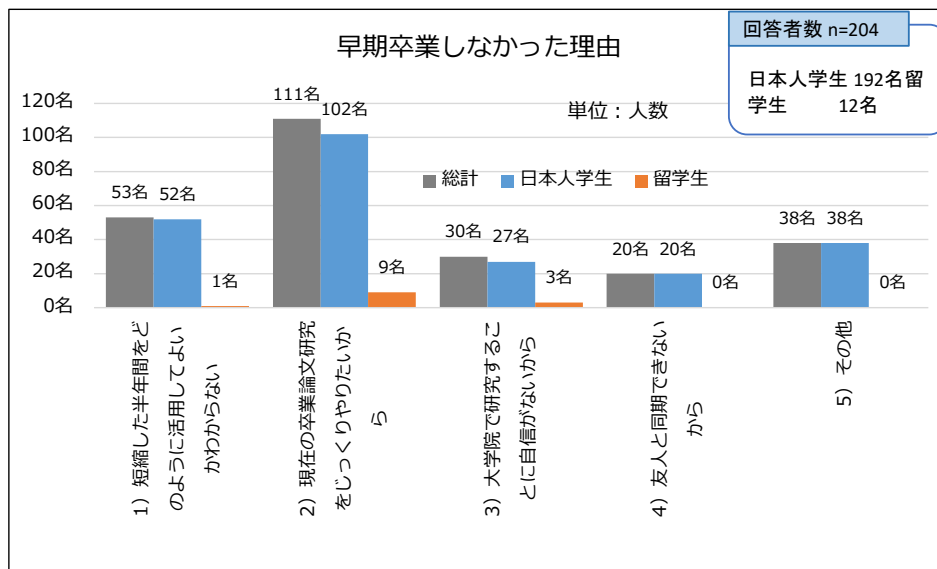
※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



10) 早期卒業をしなかった方は、その理由を選択してください。（複数回答可）

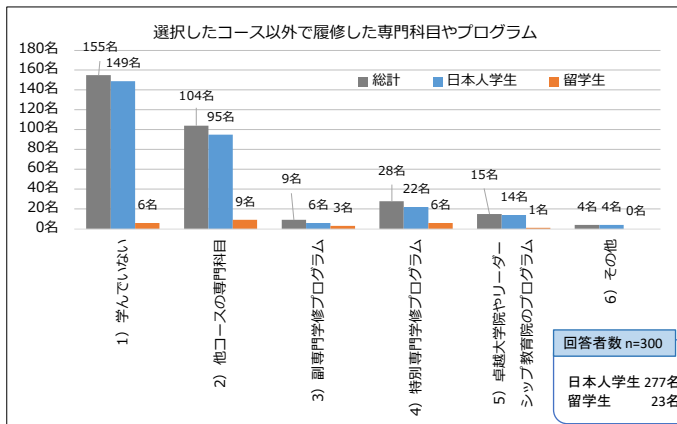
選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 短縮した半年間をどのように活用してよいかわからない	53名	25.98%	52名	27.08%	1名	8.33%
2) 現在の卒業論文研究をじっくりやりたいから	111名	54.41%	102名	53.13%	9名	75.00%
3) 大学院で研究することに自信がないから	30名	14.71%	27名	14.06%	3名	25.00%
4) 友人と同期できないから	20名	9.80%	20名	10.42%	0名	0.00%
5) その他	38名	18.63%	38名	19.79%	0名	0.00%
回答者計	204名	100.00%	192名	100.00%	12名	100.00%
無回答	162名		121名		41名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。



問8 就職までに至るまでの状況について

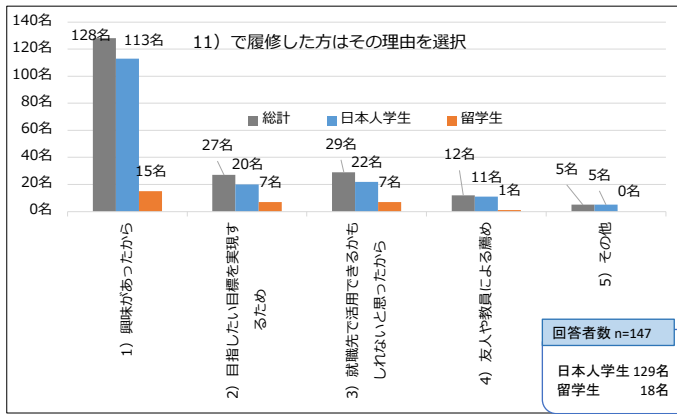
11) 選択したコースのカリキュラム以外（文系教養科目、キャリア科目を除く）で履修した専門科目やプログラムを選択してください。（複数回答可）



選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 学んでいない	155名	51.67%	149名	53.79%	6名	26.09%
2) 他コースの専門科目	104名	34.67%	95名	34.30%	9名	39.13%
3) 副専門学修プログラム	9名	3.00%	6名	2.17%	3名	13.04%
4) 特別専門学修プログラム	28名	9.33%	22名	7.94%	6名	26.09%
5) 卓越大学院やリーダーシップ教育のプログラム	15名	5.00%	14名	5.05%	1名	4.35%
6) その他	4名	1.33%	4名	1.44%	0名	0.00%
回答者計	300名	100%	277名	100%	23名	100%
無回答	66名		36名		30名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

12) 11)で履修した方は、その理由を選択してください。（複数回答可）



選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1) 興味があったから	128名	87.07%	113名	87.60%	15名	83.33%
2) 目指したい目標を実現するため	27名	18.37%	20名	15.50%	7名	38.89%
3) 就職先で活用できるから	29名	19.73%	22名	17.05%	7名	38.89%
4) 友人や教員による薦め	12名	8.16%	11名	8.53%	1名	5.56%
5) その他	5名	3.40%	5名	3.88%	0名	0.00%
回答者計	147名	100%	129名	100%	18名	100%
無回答	219名		184名		35名	

※複数選択可能なため合計すると人数、割合共に100%を超えます。

13) 11)で履修した方は、将来、本学修が役に立つと思うか否かについて選択してください。

選択肢	総計		日本人学生		留学生	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
強くそう思う	52名	36.36%	42名	34.43%	10名	47.62%
そう思う	68名	47.55%	60名	49.18%	8名	38.10%
そう思わない	6名	4.20%	5名	4.10%	1名	4.76%
全く思わない	5名	3.50%	4名	3.28%	1名	4.76%
どちらともいえない	12名	8.39%	11名	9.02%	1名	4.76%
回答者計	143名	100.00%	122名	100.00%	21名	100.00%
無回答	223名		191名		32名	

